

黒塚の料亭や狭い路地、石畳の横町など風流なたたずまいが残る東京・神楽坂。その一角にワインバー「Chika」  
|| 写真||を見つけた。元料亭で、築五十年という一軒家の外観を残し、内装をリフォームして六月末にオープンした。  
フランス人のデザイナー

なせか最近、料亭を改装した店が話題を集めている。「Wakuya

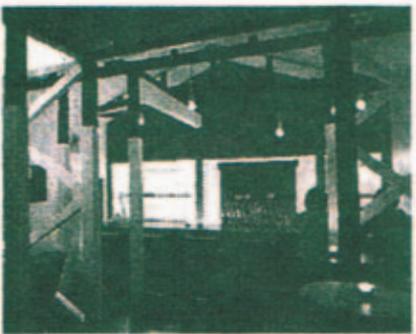
階なら座敷で上海家庭料理を味わえる。

歴史ある料亭の敷居は高いものだ。「一見(いちげん)さんお断り」という言葉に代表されるように、ビジネススマンら得意客以外にとって気軽に足を運べるところではない。

「元料亭」はそんな空間を広く開放したものと見える。若い女性だけのグループでも、都会の中の隠れ家のような独特の情緒を楽しめるわけだ。

「こう聞くと、きめ細かいもてなしなど「料亭文化」が失われていくことを嘆く声があるかもしれない。しかし長引く景気停滞で、老舗でも生き残っていくのは容易でない。昨今、女性ら新しい顧客が有効活用のアイデアを後押しするのは、時代の流れではないだろうか。(「食チャンネル」プロデューサー

## 料亭が生まれ変わる



## ウーマンアイ

笑笑茶楼(いちえみちやるう)もその一つ。テレビでおなじみの中華の有名料理人、脇屋友詞さんが東京・赤坂に開店したばかりだ。一階ではテラス付きテーブル席、二